

日中は暑い日がまだ続きそうですが、風が涼しく感じる時間もあります。体調の変化には気を付けてください。
楽しかった文化祭も終わり、過ごしやすい季節になります。学習そして進路活動に力を入れて2学期を過ごしましょう。

📌 2学期の過ごし方について

3年次は「受験年次後半戦」に突入しました。

文化祭も終了し、共通テスト出願も行い、いよいよ受験が目前です。一般選抜を考えている人の中には、推薦や総合型選抜に動いている人を見て、不安や、焦りを感じる人がいるかもしれません。しかし、あくまで進路は人それぞれ。『自分の第一志望』目指して、合格するにはどうしたらよいか、試験日から『逆算』してこれからの計画を立てて実行しましょう。2学期は、夏休みと違い、学校生活のある中での受験勉強となります。学校の授業にきちんと取り組んだ上で、いかに、時間を有効に使えるかがカギとなります。睡眠時間はきちんと確保しながら、対策を立てましょう。

一般選抜を予定している人は、志望校の過去問（赤本）で出題形式や内容・傾向を調べておくと、それに合った学習を進めていくことができます。

（※赤本は資料室で閲覧できます。第一志望・第二志望の大学は、ぜひ自分でも購入して活用しましょう！）

推薦や総合型選抜で受験をする人は、進路資料室の先輩たちの受験報告書で、受験方式、面接や小論文の内容等を調べることができます。また、「蛍雪時代9月号」にも各大学の面接の形式や質問例などが記載されています。こちらもぜひ活用してください。

『現役生は最後まで伸びる！』これは本当です。1日1日を大切に、2学期を過ごしましょう！



1・2年次は、学力アップ↑ もダウン↓ も これからが分かれ目！ 学習習慣の確立を！

2学期は、いわゆる『中だるみ』になりがちです。授業、行事、部活動のある日々の中で、授業を大切に

して、その上で、いかに時間を上手に使うことで学習を進めていけるかが大切です。

1年次の皆さん、1年次のうちに、日々の学習習慣を確立し、実行していける力を身につけてください。そうすれば、今後も着実に力は伸びていきます。

2年次は、3年次になるまであと約半年、進路研究や志望校研究も進めながら、日々の学習を継続していきましょう。第一志望が決まると学習へのモチベーションもアップします。

1・2年次ともに、次の年次に進級する4月までに、これまでに学習した教科書や問題集の内容がきちんとマスターできているかどうか重要です。入試は、1年生からの内容が出題されます。考査前だけの勉強では、なかなか長期記憶に結びつきません。こまめな復習で、定着を図りましょう。特に、定着に時間が必要な『英数国』については、2年次までに土台を固め、基礎の完成を目指しましょう。スタディサプリは順調に進められていますか？残り半年の過ごし方で、次の年次のスタートラインが決まります。毎日、少しでも学習時間を確保し、『中だるみ』ではなく、『飛躍につながる土台作り』の2学期にして下さい。

📌 第1回指定校校内選抜会議終了 3年次

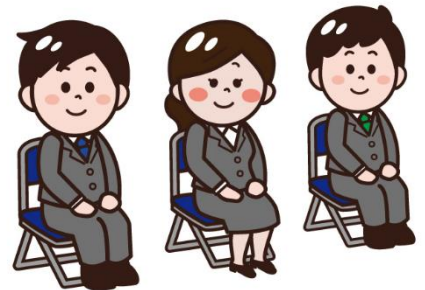
さて、去る9月6日（金）に第1回指定校選抜会議が行われ、指定校推薦者が決まりました。今年度第1回は、64名の生徒が推薦されることになりました。推薦が決まった人は校内選考に通ったことだけで安心することなく、本番に向けてしっかり準備をしてください。特に書類提出の日になを間違える、書類が不足のまま提出する、などといったことが無いよう注意しましょう。提出期限の確認も必要です。出願書類の提出期限は、消印有効か必着のどちらかです。間違いの無いよう、しっかり確認してください。志望理由等も何回か下書きをして、ミスが無いよう気を付けて下さい。

📌 面接試験の心構え

上級学校の推薦や総合型選抜、採用試験（就職）においても面接試験は必ず行われます。上級学校に進学する生徒もいずれは採用試験（就職）を受験するでしょうから、面接試験は皆さんにとって避けて通れない道というわけです。学力試験は得点という具体的な数値による評価ですが、面接試験は印象の部分が評価されないとは言えません。「面接の印象は最初の5秒で決まる。」という人もいます。

ある心理学の実験で、スーツを着てメガネをしている人は、ジーンズをはいている人より「知的で清潔感があり、尊敬できる」という結果が出たそうです。人を見かけで判断してはいけないといいますが、人間は服装や髪型などで人を評価してしまう心をどこかに持っているようです。それなら、面接官が好印象をもつ格好をした方がよいでしょう。日頃からこれを意識した服装や髪型で過ごして欲しいと思います。面接試験の時だけ「よそゆき」の格好になり、大事な面接試験で、イチかバチかの大勝負に出るのは避けたいですね。

もちろん、面接試験の評価は印象よりも質問に対する回答が高いはずですが、何度も練習し、自信を持って臨めるようにしておきましょう。



【質問事項例】

- ①自己紹介（自己PR）をしてください（資格取得や受賞歴などあれば伝えよう）
- ②志望動機を教えてください（具体的に言えるようにしよう）←最重要
- ③高校で頑張ったことを教えてください（学習・その他の活動を含め振り返ってみよう）
- ④長所を教えてください（自己を見つめ、自身の良い部分は日頃から10個は言えるようにしよう）
- ⑤短所を教えてください（短所をどのように改善していくかも含め話ができるように準備しよう）
- ⑥入学後（入社後）にしたいことを教えてください（どのように学校や社会へ貢献していきたいかなど）
- ⑦卒業後に就きたい職業を教えてください（将来の夢なども含めて）
- ⑧挫折経験を教えてください（どのように克服したかも含め言えるように準備しよう）

📎「みだしなみ」と「おしゃれ」について

みなさんは、「身だしなみ」と「おしゃれ」をどのように考えていますか？同じことでしょうか？

「人に不快と感じさせないように、服装や言葉遣いなどを整えること」を「身だしなみ」と言います。それには清潔感が大前提になると思います。一方おしゃれは、自己主張や自分が好きで気に入って自己満足のためにするものです。少々奇抜な髪形や服装をしていて周りはびっくりするかもしれませんが、おしゃれは自分のためにするものですから認められると思います。つまり「おしゃれ」自分が基準で「身だしなみ」は相手が基準だということです。

では、制服で考えてみましょう。制服はフォーマルな服装で私服ではありません。着用には基準があります。身だしなみという点からも自分勝手に着用はできないはず。スカート丈を短くしたり、ズボンを下げたり、だらしなくシャツを出して着るようなことはやめましょう。いつでも面接試験を受けられるような服装にしておきたいものです。



📎学校推薦型選抜、総合型選抜を考えている1・2年次のみなさんへ

本校では、多くの生徒が学校推薦型選抜、総合型選抜を利用して、進学しています。この入試方法を利用する予定の生徒は、普段の学習と並行して事前準備が必要になってきます。例えば、「探究的な活動は何をしたか」、「志望する学科で取り組みたいこと」、「どのような場面でどのようにリーダーシップを発揮できたか」等を志望理由書や自己PR書に記述する課題を課す学校が非常に多いです。総合型選抜では、これまでの自分の活動をまとめるプレゼンテーションや、オープンキャンパス・大学の授業に参加して取ったノートの提出やレポート作成などの課題もあります。中には事前に論題が大学から提示され小論文の提出を求める大学もあります。

また、美術系の大学を推薦型・総合型で受験する人は、これまでに制作した作品をポートフォリオとして作成し、試験当日に提出すると「この作品で訴えたいことは何か」と深く質問されたり、「好きな作品」を問われ、なぜ・どこが好きかを聞かれることが多いようです。

実技科目（美術系、音楽系だけではなく建築学科でも平面構成などのデッサンを要求される場合があります）が、受験項目にある場合、とにかく早めにその対策を始める必要があります。特に注意してほしいのが『実技やものづくりを主とする学部学科が課す入学試験』です。高校生活全体を通じた計画的な準備が必要となります。美術大学、音楽大学などを目指す生徒は、早めに芸術科の先生方へ相談しましょう。場合によっては専門科目でも予備校（画塾、音楽教室など）に通う必要も出てくるかもしれません。

さらに、これは全体に言えることですが、漫画やドラマ、小説、社会情勢など、大衆の心を揺さぶったモノが世間で注目されれば、その方面に志望者が集中することがよくあります。

1・2年次のみなさんは「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」等の時間に進路や職業について考える時間があると思います。現在の自分や将来の希望等を文章で説明できる力を身につけておきましょう。

📎公務員・就職を考えている1・2年次のみなさんへ

公務員試験の出願は6月、試験は9月から始まります。したがって、試験のための勉強をする時間は、2年次生の場合、あと1年もあります。本校でも月に1回、公務員講座を開いていますが、当然それだけでは、学習量が足りません。教養試験の対策抜きに公務員合格はあり得ません。まずは、講座に参加し、問題集で対策を行い、万全の準備をして欲しいと思います。

民間企業の求人票は7月1日から公開となります。そして夏休み中に企業見学を行い、9月には受験をすることになります。つまり、このわずかな期間に求人票やパンフレットを見たり、会社見学に出かけたりして、自分が受けたい企業を決め、履歴書を作成し、面接練習もしなくてはなりません。就職試験においては、普段の成績はもちろんですが、出欠状況は非常に大切です。休んだり遅刻したりする人にお給料は払いたくないですね。遅刻欠席を極力しないようにしてください。また、「服装」や「敬語」、入退室の「マナー」など日頃から意識して生活しましょう。

